

「舞」

校長 滝口健二



薫風の中、先日の体育祭では子どもたちが躍動し、疾走し、舞い踊る姿に感動しました。昨年度は、学年別開催の上、入場制限もある窮屈な中での開催でした。今年は全校同時開催、そして有観客で行うことができました。コロナ禍にあって、多くの我慢を強いられてきましたが、さわやかな風の中で、これまでの我慢をひと時忘れさせてくれるかのような子どもたちの姿は、私たち大人の心を舞い上がらせてくれました。雨天で翌日に延期となりましたが、当日は晴天に恵まれ、できる限りの感染症対策をとりながら無事に開催することができました。保護者の皆様、地域の皆様にはご心配をおかけいたしました。

また、生徒総会が各学級への映像配信により放送室からライブで行われました。生徒会本部役員を中心に専門委員会や学年生徒会からの活動方針や計画、予算について提案がなされました。本年度の生徒会のテーマは「しんかの緑町」～未来は自分で創るもの～として「しんか」に「深化」、「進化」、「真価」の3つの字をあてはめ、より深く考え、前へ進み、真の価値を追求するといった意味が込められているとのことでした。緑中生の主体性がより高まり、「自主」「寛容」「練磨」を体現した学校にしたいとの思いがあるとのことでした。

保護者の皆様、地域の皆様、コロナ禍にあって緑町中学校の生徒は心も体も確実に成長しています。伝統を継承しつつ先輩方を超え、新たな形の創造ができる自慢の生徒たちです。校長はひとり舞い上がっています。